

議 会

研修会

北空知議員研修会

「地方創生に関する施策等について」

・内閣府地方創生推進室参事官 渡邊浩司氏の講演である、今まさに地方にとって最大の関心事である「まち・ひと・しごと創生法」とは、少子高齢化の進展に的確に対応し、人口の減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、活力ある日本社会を維持していくための施策を総合的に実施する。

・地方への多様な支援と「切れ目」ない施策の展開

国は2060年に1億人の人口を確保する、5力年の総合戦略を策定

地方人口ビジョン、各地域の人口動向や推計の分析や中期の将来展望を策定

地方版総合戦略、人口動向、産業実態等の5力年政策目標施策を策定

・地方公共団体の戦略策定と国の支援

地方が自立につながるよう自ら考え、責任を持って戦略を推進

国は「情報支援」「人的支援」「財政支援」を切れ目なく展開

・総合戦略2015～2019年度の5力年

人口減少問題の克服：地方に安定した雇用を創出、地方移住の推進。

若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶える。

時代に合った地域作り、安心な暮らしを守る、地域と地域の連携。

■質問（S・T）

地方創生の取り組みに要する経費に、地方交付税を含むとあるが、交付税の意義にそぐわず、自治体間に格差が出るのではないか。

■回答

総務省に確認したところ、地方創生に必要な経費として歳出を1兆円計上、うち9,900億円は普通交付税で、残りは特別交付税で措置される。また、28年度以降は未定とのこと。

■後感

一番気になることは、地方創生に取り組み経費が、地方交付税を含むことである。総体的に交付税が減っているだけに、やる気のある町

には増やし、無い町は減らす。まさに群雄割拠の時代が来そうだけに、我々議員も身の引き締まる思いで、行政と共にエネルギーを傾注しなければならぬ。（佐光）

議員コラム

今年も小中学校の卒業式・入学式に出席する。どちらも

ステージの正面中央に国旗が掲げられ、君が代が堂々と歌われた。昔の学生時代を彷彿させる。時代の変貌ぶりに痛感する。特に小学生が際立つ。私も久しぶりに母校の校歌を口ずさむ。懐かしさが蘇る。また、子ども達の深々と頭を下げた礼儀の正しさに驚く、立派であった。中学校の卒業式は一人一人がステージ上で元気はつらつと、卒業後の抱負、スピーチがなされ逞しさを感じた。小学校の卒業式で最後のお別れの対面合唱で、涙を流す児童が卒業生より在校生の方が多く、いかに卒業生が下級生によきお兄さ

ん、お姉さんとして慕われ尊敬されていたかが伺われる。（確かに見守り隊として朝街頭に立ってわかることは、上級生が下級生を纏めて一緒に通学する姿をよく見かけた。）手で涙をふく姿に参加した私達にも涙を誘い感動した。心に残る卒業式であった。

これからも、すくすくと育つて欲しい、我が町の宝、日本の宝の前途に幸あれ！と祈りたい。

追伸、昨年全国学力テストで小学6年生、中学3年生共に全国平均点を上まわった。全道の平均点は、全国よりかなり低いだけに、特出すべきことであり称えたい。（佐光）